Market Letter 情報提供資料

英国金融政策（2026年9月）

6会合連続で政策金利を3.75%に据え置き

2026年9月18日

エネルギー価格の高止まりが続けば、早晩利上げへ

BOE（イングランド銀行）は9月16日（現地、以下同じ）に終了した金融政策委員会で、市場予想通り政策金利を3.75%に据え置くことを決定し、17日に発表しました。据え置きは6会合連続です。票決は前回7月と変わらず6対3で、3名が0.25%ptの利上げを支持しました。

政策金利の据え置きを決定した理由として、声明文と議事録では、エネルギー価格の上昇が賃金や価格設定に及ぼす二次的影響の証左がこれまでのところほとんどないこと、経済活動の弱さ、軟調な労働市場、家計・企業が直面する引き締まった金融環境などを挙げています。一方で、インフレ見通しの上振れリスクは7月時点よりも強まっている、景気は想定よりも底堅い、需要不足の拡大に歯止めが掛かりつつあるとも指摘しています。また、ベイリー総裁は、もし中東での紛争がこのまま長期化し二次的影響が生じるリスクが高まれば、金融政策を引き締める必要があるかもしれないと述べました。結局は中東情勢次第ですが、エネルギー価格の高止まりが続くようであれば、早晩利上げを余儀なくされそうです。

BOEは保有国債の残高4,880億ポンドのうち、銀行券発行の裏付けとするために保有する2049年以降償還の1,200億ポンドを除く3,680億ポンドを年平均460億ポンド（200億ポンドは債務管理庁への売却、他は償還）減額し、2034年にゼロにする方針も打ち出しました。減額ペースは過去1年の700億ポンドを下回ります。長期計画の公表や詳細が確定する2027年4月までの売却停止を含め、市場に配慮した対応です。

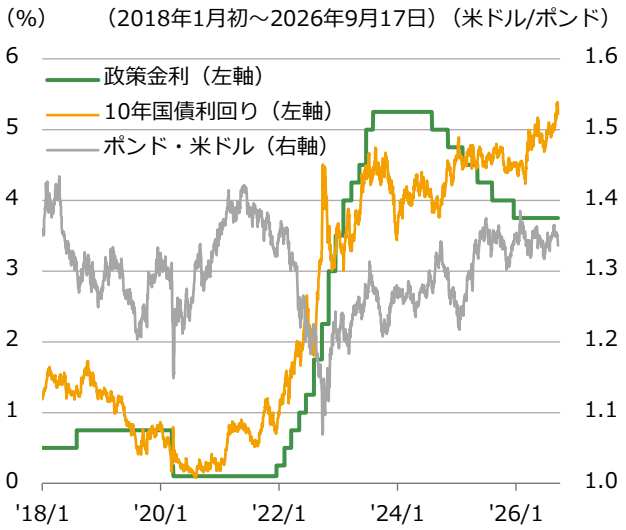
英国の消費者物価指数と週平均賃金



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
※週平均賃金は3カ月移動平均で、2026年7月まで

（出所）英国統計局

英国の金利と為替



※政策金利は発表日ベース

（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。